

御浜町第6次総合計画 後期基本計画策定に向けた
まちづくりワークショップについて

令和6年11月
企画課

御浜町第6次総合計画 後期基本計画策定のための まちづくりワークショップ結果について

1. 実施内容

目 的	令和3年度にスタートを切った第6次御浜町総合計画の中間見直しに向けて、令和8年度から令和13年度の5年間のまちづくりを進めるにあたり、どういったことがこれからの御浜町に必要なか、町民の方の想いや意見を出し話し合い、まちづくりの推進へ役立てることを目的としてワークショップを開催。
内 容	～みんなで話そう。みはまのまちづくりのこと。～ 【意見交換のテーマ】 ①まちの持つ強みやそれを活かす方法などについて ②今、直面する解決の急がれる課題について
参加者	開催の趣旨等に賛同いただいた町民の方20名
開催日時等	・令和6年10月5日（土） ・14時～16時程度 ・くろしおホール
その他	・4グループによるワークショップ ・ファシリテーター：(株)ぎょうせい 上席主任研究員 矢野武司氏



2. 当日のタイムスケジュール

	(タイムスケジュール)
1 開会あいさつ	14:00
2 ガイダンス ・ワークショップの目的と実施方法の説明 ・ファシリテーターの紹介 ・総合計画について。まちづくりアンケート調査について	14:05
3 アイスブレイク ・自己紹介 ・リーダー、サブリーダーの決定	14:15
4 ワークショップ① ○まちの持つ強みやそれを活かす方法などについて ○各班のまとめ ○発表	14:20 14:50
5 ワークショップ② ○今、直面する解決の急がれる課題について ○各班のまとめ ○発表	15:10 15:40
6 総括	16:00
7 閉 会	16:10

3. テーマごとの主な意見

①まちの持つ強みやそれを活かす方法などについて

分類	意見
自然環境	七里御浜の自然美・自然遺産
	七里御浜の浜石 昔は石屋も
	海（海岸線）が美しい
	自然遺産・名勝が多い
	山水がきれい
	空気がきれい
	段階的に秋が進んでいると感じられる（都会では無い）
	魚がおいしい
	緑が多い、自然環境が多い
	多様な生物（自然）が多い
遺産など	文化遺産 県指定3カ所・町指定40カ所
	熊野古道 ・浅間山の遊歩道 ・桃太郎岩 ・川の自然
	神木 ・イヌマキ ・不動の滝 ・大楠
	伝統産業 市木木綿とそれにつながる文化
生活環境	周りと比べて土地が安い
	静かで住みやすい
	温暖な気候 住みやすい気候
	穏やかなところ
	のんびり過ごせる
	犯罪が少ない
交通環境	町内バスの運行
	三重交通 熊野交通 バスがある
	道路が整備されている
	渋滞が少ない
	ネットで買ったものが、都会と変わらない速さで届く
公共施設	役場（庁舎）が比較的新しい（駐車場が広い）
	公民館が地区ごとにある
	紀南病院
	保育園に全員入れる
	寺谷公園
みかん	みかんがおいしい種類も多い
	おいしいみかんが育つ（他地域に比べ）
	無人販売所でみかんが安く買える
	農業（みかん）を始めやすい
第一次産業	一次産業が多い（農業（みかん・米）、漁業）
	漁業 定位置網漁
	魚がおいしい

	農地をもっと生かして（休耕地）で自然農法を広げていけばよい
	シカ・イノシシの活用、ジビエに
産業	熊野古道のハブ地としての土地的価値
	阿田和駅前のホテル
健康・福祉	町が町民の健康診断に力を入れている
	紀南病院、基幹となる病院があること
	高齢施設は恵まれている
	福祉バスは利用しやすい
	医者が多い
人とのつながり	若い人達がつながっている
	青年団活動
	福祉事業も充実してきている
	地域に知り合いが多い
	近所との付き合いが出来る
	人がやさしい
観光・交流	阿田和のお盆の花火がすばらしい
	各青年団がいろんなイベントを行っている
	インフォメーション 24 時間使用可能で便利
	地域のイベント盛ん

活用方法などの意見	
	海岸線の美しさを観光に生かす
	新宮・熊野・尾鷲などのベッドタウン化
	遺産の一覧表（マップ）作成、周辺の整備
	自転車の道や歩道の利用促進
	サイクルトレイン利用者への、古道の楽しみ方などの標識、インフォメーションの作成
	J R阿田和駅は御浜町の玄関今のデザインを生かし建て直すまちづくりの拠点にする
	定期的な市を開いて、交流を盛んにする
	みかんブランドの強化、六次産業化
	農業学校の設立
	地域のにぎわいを創出
	全国規模のイベントの創出
	伝統的な祭りを巡るツアーを作る

②今、直面する解決の急がれる課題について

分類	意見
人口減少	結婚支援
	若者が町外に出ていく
	移住者が少ない
	人口減少への対策
少子化	高齢化が進んでいる
	子供数が少ない（出産者が少ない）
	児童数の減少
担い手不足	少子化への対策はどうか
	高齢化進行による労働力不足
	地区役員、消防団、なり手不足
	子育て世代が住みやすい町づくり（移住促進）
働く場	田舎のリターン者が沢山いけば良い
	働く場が少ない
	若者の働ける環境作り
	人件費が高くなった
交通	企業の誘致（仕事の確保）
	交通が不便
	車がないとどこにも行けない
	42号に車が集中しすぎ
	都会まで遠い空港まで遠い
医療	ふれあいバスの本数が少なくて不便
	紀南病院の経営改善
	専門医が少ない
防災	産婦人科がない
	津波想定位置に（危険なところ）学校や公共施設があること
通信	5Gがない
教育環境	児童の学ぶ・預ける場の少なさ
	学童の充実
	女性も含めた働きやすさ
	学校の統合問題
	図書館（室）が充実していない（場所がせまい）
子育て環境	遊具が多い公園がない
	子育て福祉、共働き世帯への支援
	遊ぶところが少ない
遺産の継承	中遍路、小遍路、伊勢路の中継地としての整備
	自然遺産の保護、継承、アピール
	文化財の散逸
	文化活動を発表する場が少ない
みかん・農業	「年中みかんのとれるまち」のキャッチフレーズどおりになってい

	ない
	みかんのブランド力不足 (みかんの産地として御浜があまり有名じゃない)
	農家後継者不足
	安心して農業ができる様な環境づくり
	就農者のアフターサポート
	耕作放置農地の対策
	みかんの売り値が高くない
	農業で生計がたてられるように (土地はある。条件は恵まれている。)
	生製品の販売方法
買い物・食事	近くて便利と言うコンビニがない
	飲食店が少ない
	アプリクーポンはほとんど役に立たない
	食事する所が少ない
	店が少ない
	日常の買い物が不便 (店が少ない、遠い)
観光・交流	全国の人達が集まれるイベントがあれば良い
まちづくり	高速降口の開発プラン
	J R阿田和駅のプレハブ化について再考
	コミュニティ社会の必要性
	歩いて生活出来る環境づくり
生活環境	草刈りが大変
	ゴミが多いため分別の必要
	近隣と比べると住民への補助が弱い
空き家・空き地	空き家が多い (管理されていない)
	空き家の利用について
	空き地が多い (管理されていない)
	宅地化の推進
獣害対策	獣害被害がひどい (猿・いのしし・しか)
	獣害対策に力を入れる

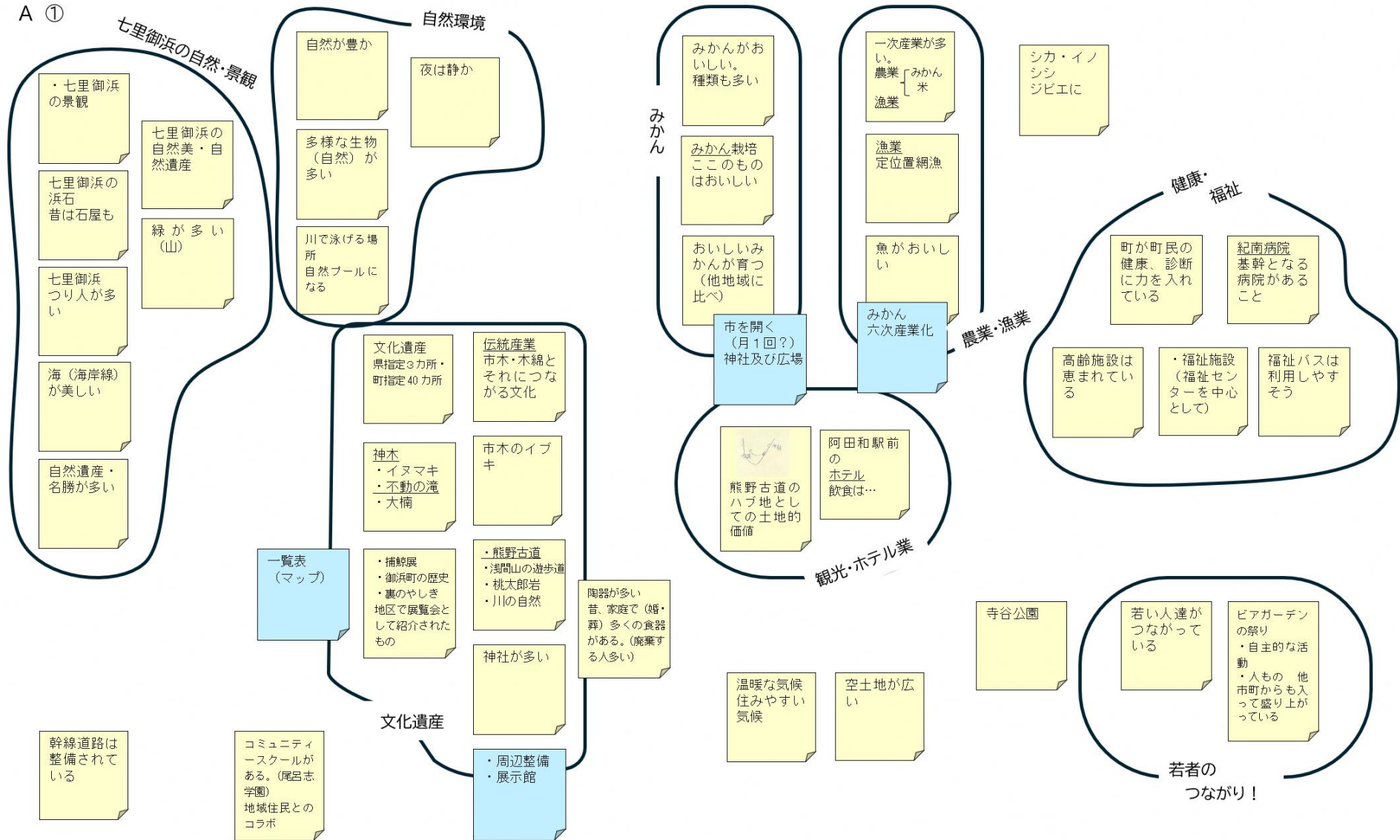
解決方法などの意見
職場を増やす（働く場所）
専門学校、大学
空き家を町が買い取り移住者の住宅を増やす
人と人材の集中、地区の統合もしくは連携
儲かるシステム作り（農家）
空港直通バス
紀南病院の経営について、特徴のある病院にする
学校統合の際に、学童など預ける場の整備を行う
みかんまつりを再開して、にぎわいを創る
付加価値を付けるための施設建設
新しい産業への対応、AIの活用、人口減の中で継続できる技術の導入、促進
JR 阿田和駅を地域の拠点にする
サイクリングの人達の案内をする
家の片付けはボランティアを活用
ジビエ処理の施設

地域や個人で参加できることなどの意見
情報発信する（地域のこと）
広報活動推進（良い点アピール）
市木で市を
空き家バンクへの登録促進 荒地を宅地化
六次品研究
文化活動をしている地域の人達の発表の場を作る
カフェを通して、地域の人達に食事やくつろぎの場を提供
高齢者のたまり場で情報交換
猟師の育成

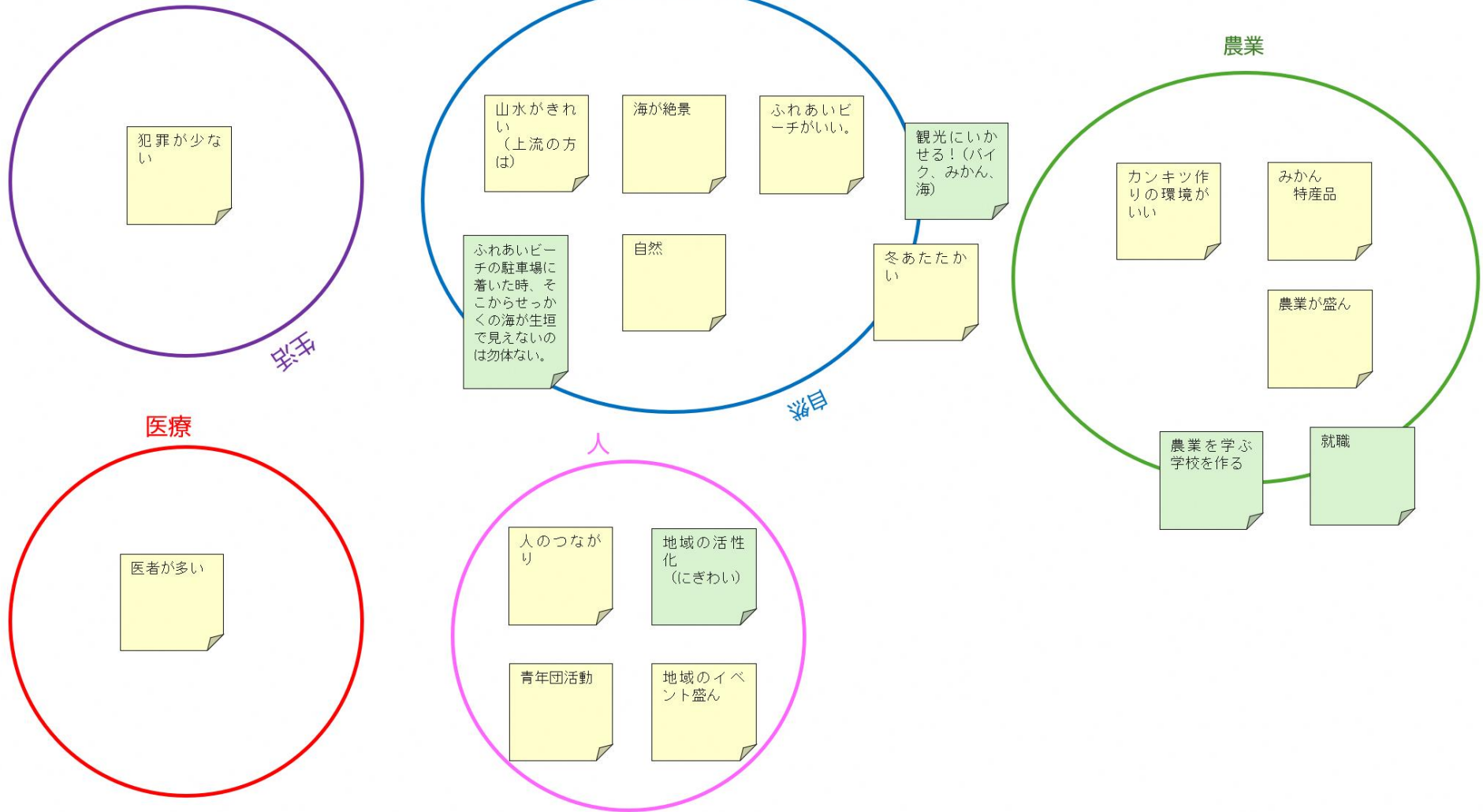
4. グループごとの意見

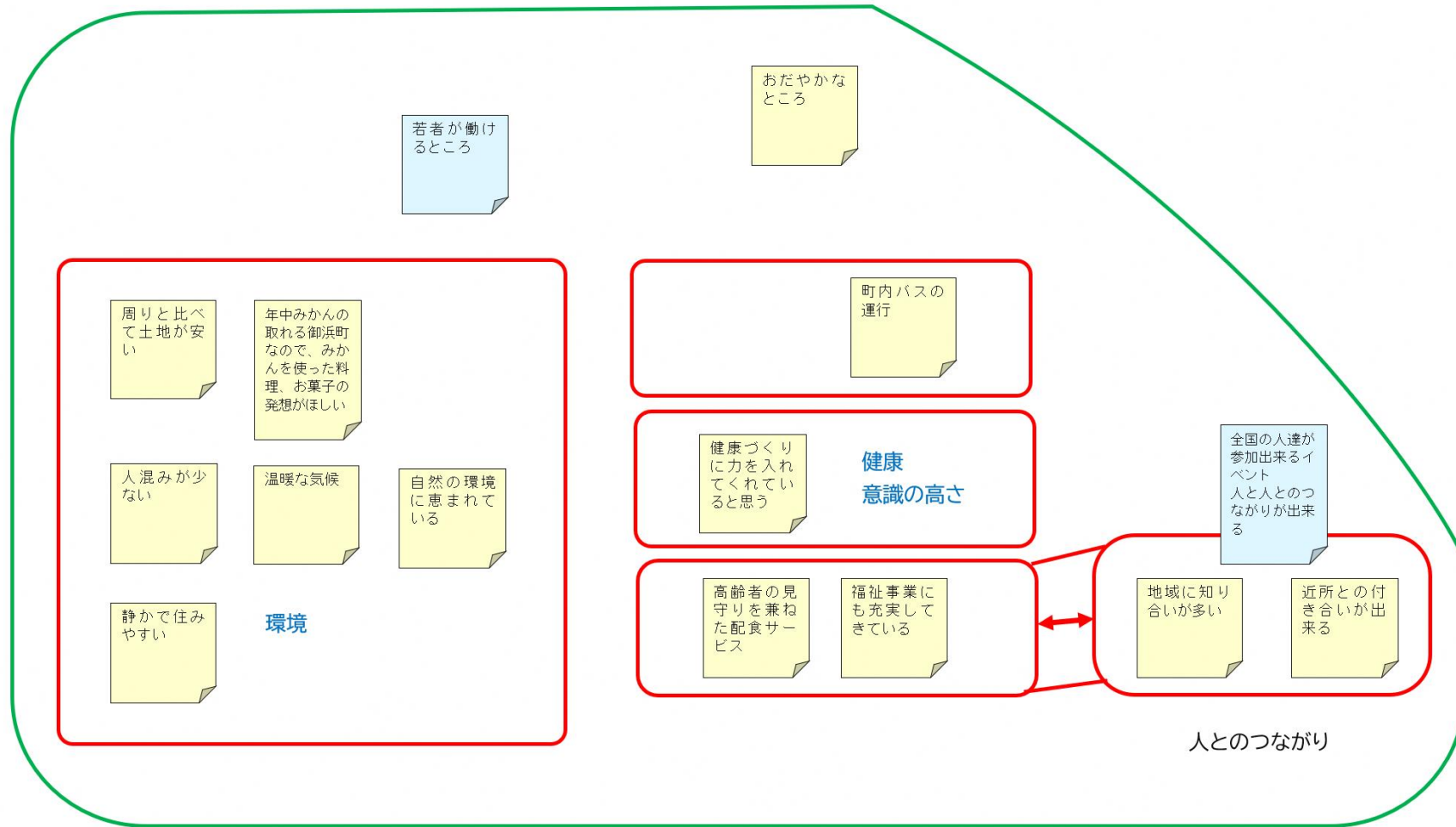
①まちの持つ強みやそれを活かす方法などについて

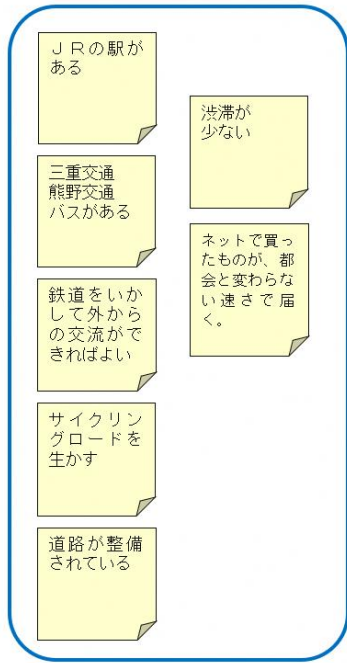
A ①



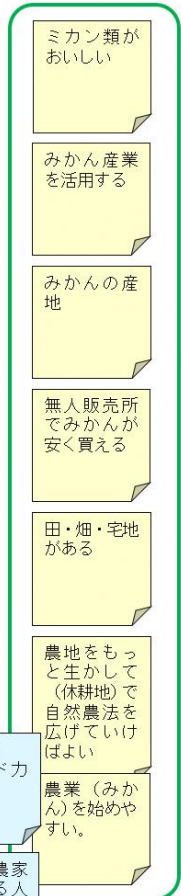
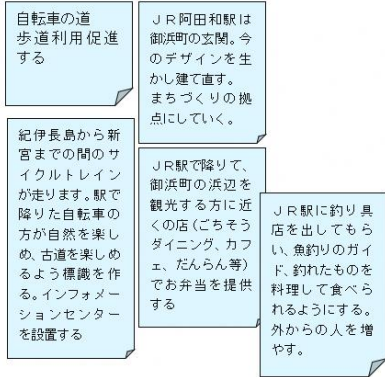
B ①



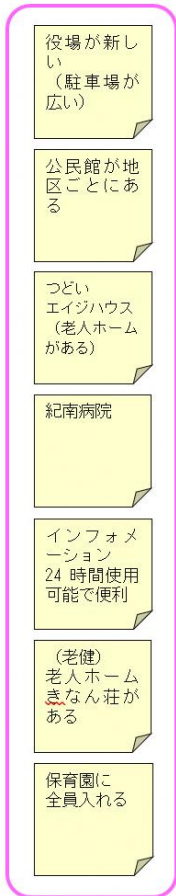
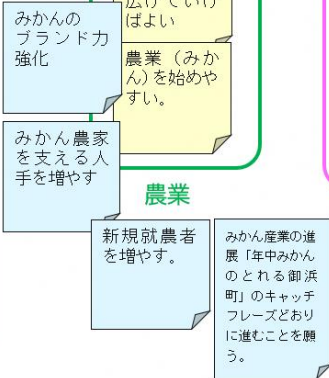




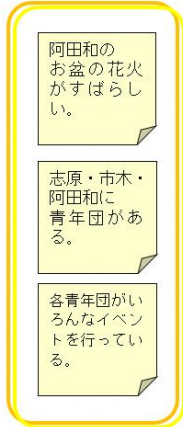
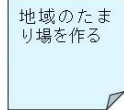
交通



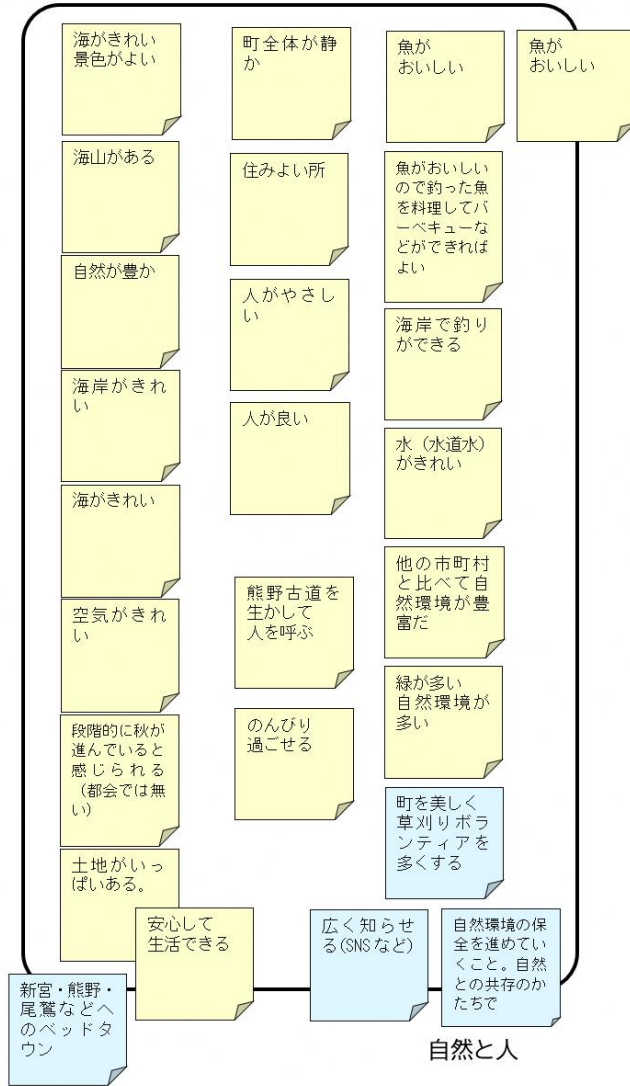
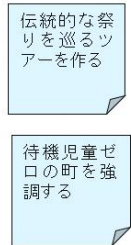
農業



公共施設



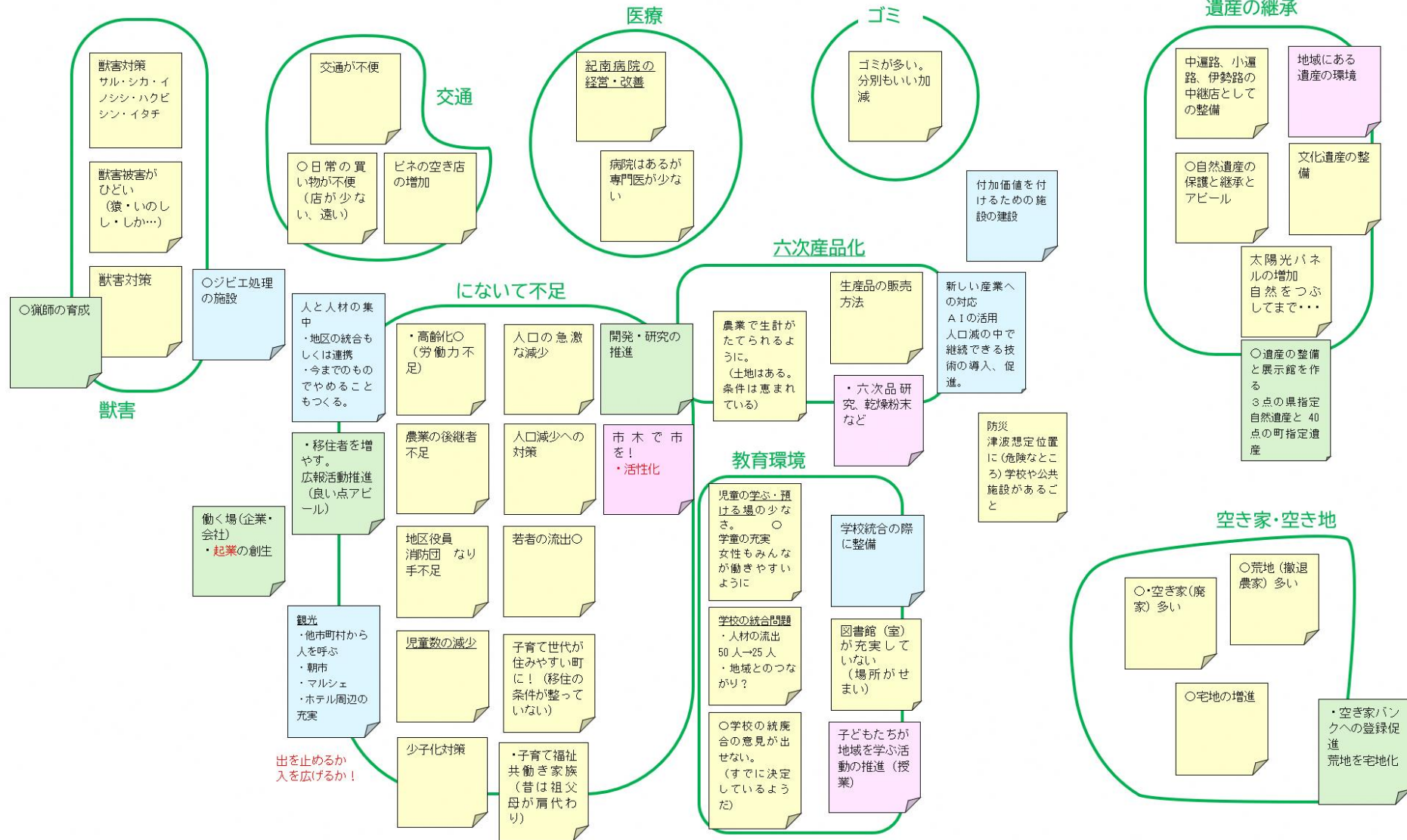
イベント



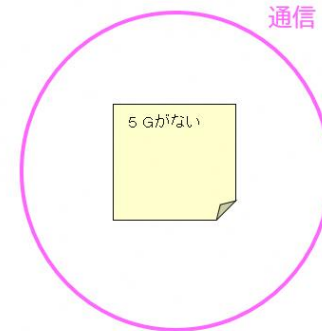
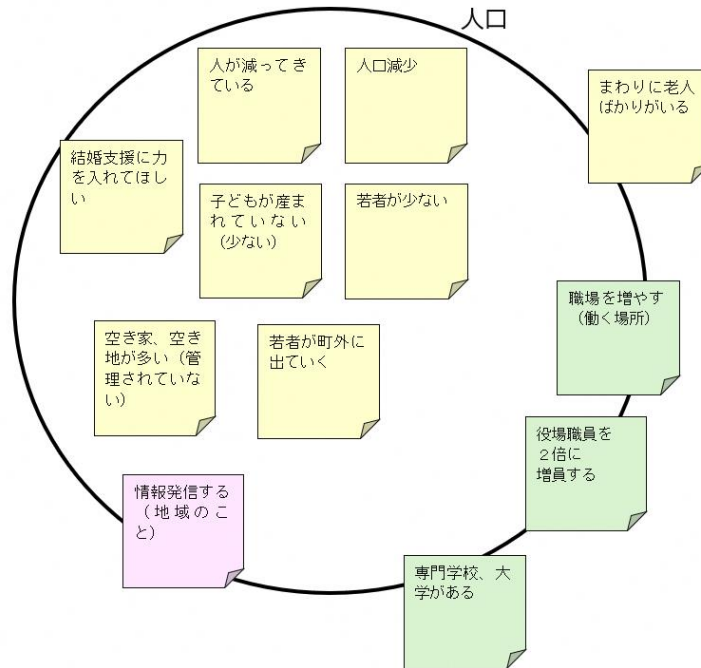
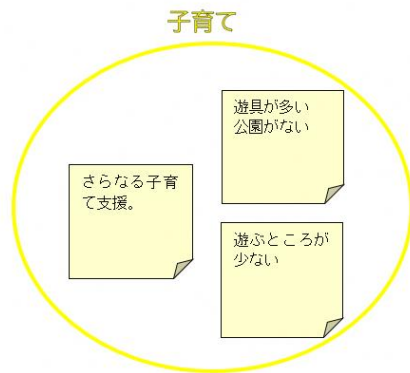
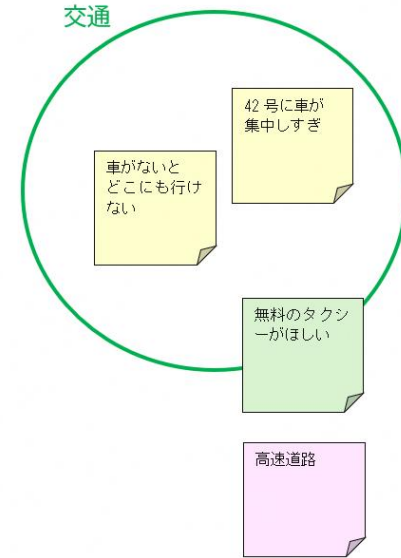
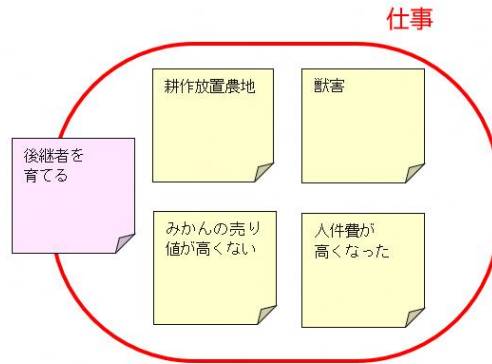
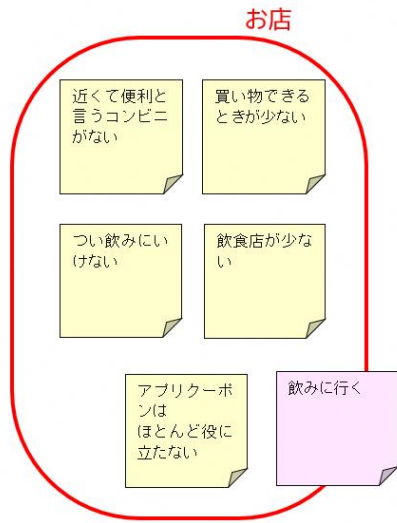
自然と人

②今、直面する解決の急がれる課題について

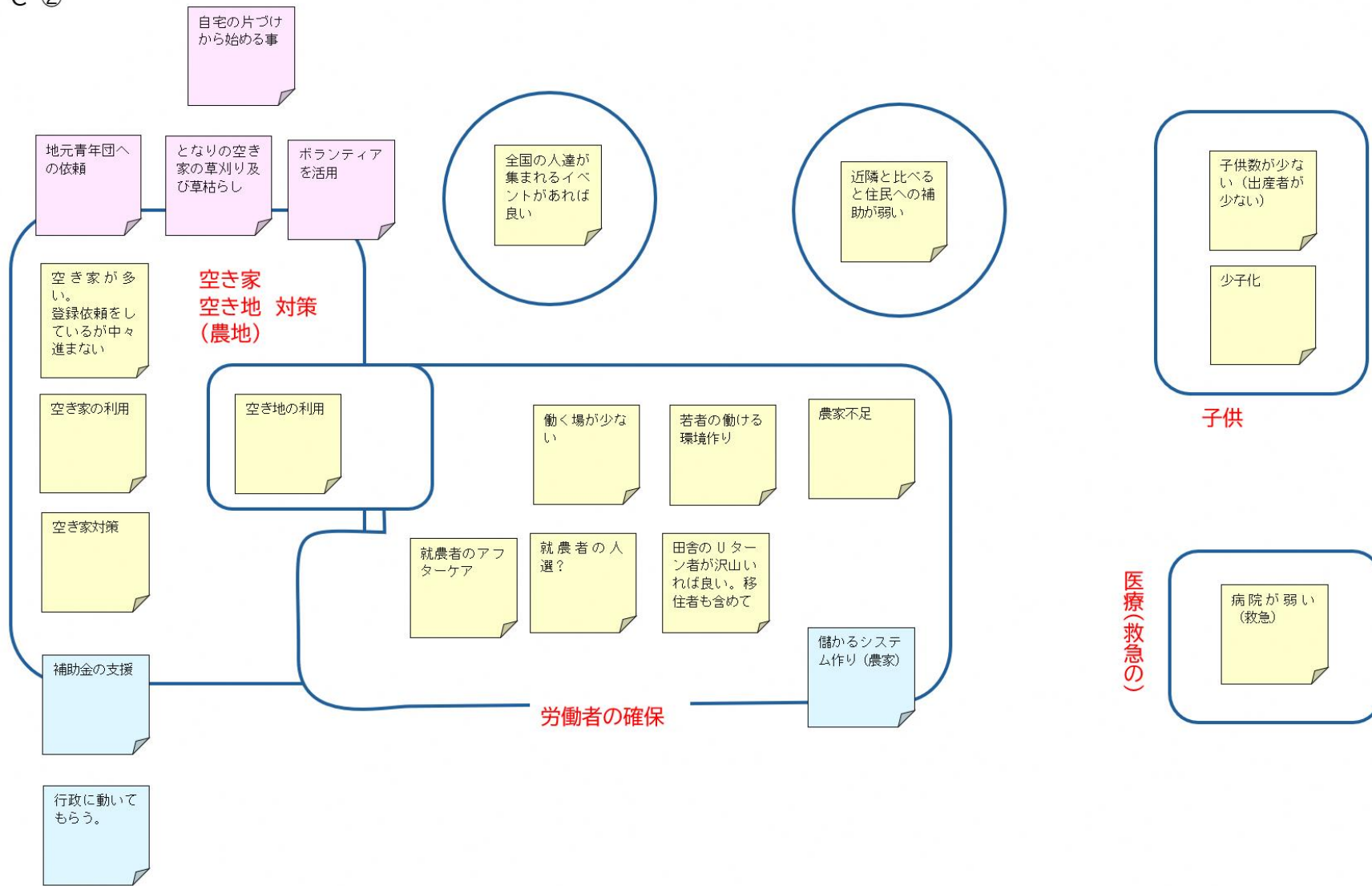
A ②



B ②



C ②



D ②

